



男女共同参画推進委員会

第130回

公立高校の男女別学に思うこと

安中市男女共同参画推進委員会委員

能登 美津子



令和2年11月より人権擁護委員会から、この男女共同参画推進委員会に参加するようにになりました。これまで自身の中にもどろどろの問題意識があり、現実の生活の中でどんな経験をしてきたかを振り返ってもあわあわと戸惑っているところでした。

私は生まれも育ちも北海道で、結婚を機に安中市に居住することになりました。「所変われば」で驚いたことの一つが、公立高校の男女別学でした。少なくとも自分が成長し多感な年代の時に男女共学は一般的なことであり、当然のことと思っていましたので、驚きと違和感がありました。自分の子ども達が高校受験を迎える20年以上前から、共学の論議は何度もあったように記憶しますが、同窓会の反対などもあり、現在の男女共同参画推進の観点からは議論が進まず今日に至っている気がします。

す。にもかかわらず公立にして男子しか入学できない学校、女子しか入学できない学校が存在しています。

「高校三原則」という言葉は私の年代でははつきり記憶にあるところですが、戦後の学制改革で6・3・3制がしかれ、最初の理念が「高校三原則」(小学区制、総合制、男女共学制)でした。ほとんどの地域がそれに合わせて大きな変革を課せられ、男女別学が残されたわずかな県もありながら、2000年代に入ると宮城県や福島県などでは、共学化されてきたそうです。

最近では富岡高校と富岡東高校が統合され、沼田高校と沼田女子高校も統合が決まりました。今後少子化に伴う統合は進み、結果として共学化されていくと思えますが、若い人を巻き込んでのせつかくの議論の機会を失っているようで残念に思います。

自分の子どもが家庭を持ち、二人で働き、二人で子育てするのを現実に見るようになり、若い世代の意識も社会も、大きく変わってきているのを実感します。「男女共同参画」という言葉により、これまで当然と思ってきた、あるいは甘んじて受け入れてきた性別での役割分担を捨て去り、目指すべき社会を明確にしてもらったという感じがします。そして将来、もったいなく言葉が生れてくるかもしれないと思わされます。

問合せ▶困地域創造課市民協働係(☎内線1027)

おめでとうございます 令和3年度前期技能検定合格者発表

技能検定は働く人たちの技能の程度を一定の基準で検定し、特級・1級・単一等級・2級・3級に格付けして公証する国家検定制度です。今回の検定で見事合格したのは次の皆さんです。(敬称略)

職種名	作業名	等級	氏名	住所
機械加工	平面研削盤作業	3級	代田 大樹	松井田町国衙
機械加工	数値制御旋盤作業	2級	茂木 泰介	東上秋間
鉄工	構造物鉄工作業	2級	松本 拓未	大谷
鉄工	構造物鉄工作業	2級	金井 龍生	築瀬
鉄工	構造物鉄工作業	2級	松本 諒	松井田町五料
めっき	電気めっき作業	2級	小金澤 玲	松井田町八城
めっき	電気めっき作業	2級	鈴木 義弘	鷺宮
機械検査	機械検査作業	3級	清水 春樹	岩井
機械検査	機械検査作業	3級	植田 優	板鼻
機械検査	機械検査作業	3級	小島 彰太	古屋
機械検査	機械検査作業	3級	武井 陽向	安中
電子機器組立て	電子機器組立て作業	2級	山本 千夏	松井田町八城
建設機械整備	建設機械整備作業	2級	佐藤 聖希	原市
プラスチック成形	真空成形作業	1級	古賀 深太郎	板鼻
とび	とび作業	1級	荒井 誠	安中
防水施工	アクリルゴム系塗膜防水工事作業	1級	瀬間 宏樹	板鼻
内装仕上げ施工	ボード仕上げ工事作業	1級	神宮 克耶	安中
熱絶縁施工	保温保冷工事作業	1級	三浦 慎也	古屋